平成 21 年 7 月 17 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社　千 趣 会
代 表 者 名　代表取締役社長　行待　裕弘
（コード番号　8165　東証・大証　第一部）
問 合 せ 先　専務取締役　田辺　道夫
（ＴＥＬ　06-6881-3100）

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 29 日の決算発表時に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 21 年 12 月期連結第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	82,000	1,300	1,400	970	20.77
今回修正予想（Ｂ）	76,308	△　474	1,064	733	15.69
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 5,691	△ 1,774	△　335	△　236	―
増減率（％）	△　6.9	―	△　23.9	△　24.4	―
前期（平成 20 年 6 月中間期）実績	79,211	1,398	313	△　510	△　10.93

2. 平成 21 年 12 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	162,500	3,200	3,400	2,750	58.87
今回修正予想（Ｂ）	152,480	1,100	2,100	1,510	32.33
増減額（Ｂ－Ａ）	△10,020	△ 2,100	△ 1,300	△ 1,240	―
増減率（％）	△　6.2	△　65.6	△　38.2	△　45.1	―
前期（平成 20 年 12 月期）実績	158,285	2,413	△ 4,553	△ 6,271	△ 134.26

3. 平成 21 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想（Ａ）	75,600	1,000	1,600	1,370	29.33
今回修正予想（Ｂ）	70,944	△　543	1,655	792	16.96
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 4,655	△ 1,543	55	△　577	―
増減率（％）	△　6.2	―	3.5	△　42.2	―
前期（平成 20 年 6 月中間期）実績	76,778	1,103	741	134	2.88

4. 平成21年12月期通期業績予想数値の修正（平成21年1月1日～平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	150,000	3,000	3,600	3,150	67.43
今回修正予想（Ｂ）	141,700	1,200	2,850	1,650	35.32
増減額（Ｂ－Ａ）	△ 8,300	△ 1,800	△ 750	△ 1,500	―
増減率（％）	△ 5.5	△ 60.0	△ 20.8	△ 47.6	―
前期（平成20年12月期）実績	150,729	2,353	△ 3,853	△ 6,155	△ 131.77

5. 第2四半期業績予想修正の理由

（連結）

当第2四半期の売上高につきましては、通販事業におきましてインターネット売上拡大施策の推進によりインターネット売上は、対前年比5.6%伸びましたが、節約志向の高まりによる買い控え傾向の拡大や低価格志向の強まりによる通信販売業界及び専門店などの競争激化により、ほぼカタログ全媒体におきまして当初予想を下回りました。

その結果売上高は、当初予想より約57億円減少の見込みです。

利益面におきましても、売上高の減少及びたな卸資産の評価方法変更等に伴う評価損の増加による売上総利益率の減少により営業利益は、当初予想より約18億円減の約△5億円となる見込みです。

経常利益につきましては、為替差益等の発生もありましたが、当初予想より約3億円減の約11億円の見込みです。

また四半期純利益につきましては、当初予想より約2億円減の約7億円となる見込みです。

（個別）

個別業績につきましても連結とほぼ同様です。

6. 通期業績予想修正の理由

（連結）

通期連結業績予想につきましては、売上は通販事業におきまして当初予想をはるかに上回る個人消費の低迷に加え今後も厳しい消費環境が続くものと予想されます。その結果売上高は、約100億円減の約1,525億円の見込みです。

利益面につきましては、ネットへの更なるシフトとデータベース分析によるカタログ配布の効率化によるカタログ部数の削減と一層の販売費及び一般管理費の絞込みを実施いたしますが、下期売上の減少及び上期の売上不振による在庫増加からのバーゲン売上増や評価損増もあり原価率は当初予想より上昇する見込みです。その結果、営業利益は当初予想より21億円減の11億円となる見込みです。

経常利益につきましては、為替差益等を見込んではおりますが、営業利益の減少により当初予想より13億円減の21億円の見込みです。

また当期純利益につきましては、同様に当初予想より約13億円減の約15億円となる見込みです。

（個別）

個別業績につきましても連結とほぼ同様です。

7. 配当予想について

	1株当たり配当金（円）		
基準日	第2四半期末	期　末	年　間
前　回　予　想	8.00	9.00	17.00
今　回　予　想	6.00	6.00	12.00
当　期　実　績	―	―	―
前　期　実　績 （平成20年12月期）	8.00	9.00	17.00

8. 配当予想の修正の理由

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び適正な利益還元を基本としています。

株主の皆様への利益配分の方針として、当面は連結配当性向 30%を目標として継続的な利益還元に努めることを基本方針としており、当初の年間1株当たり配当金につきましては17円とする予定でしたが、第 2 四半期及び通期の業績予想の修正内容及び今後の業績動向や当社の株主様への還元策としての配当政策を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ではございますが、1株当たり配当金を第2四半期末6円、期末6円の年間12円と減配させていただく予定です。

これにより、年間連結配当性向は約37%となる見込みであります。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上